



目次

特集

- ★ 仕事を知ろう!「MY JOB 講座」 2
- ★ 男女が共に支え合う防災体制づくり 3
- ★ あなたの居場所は? 4
- ★ 「ぱりて」ってなあに? 6
- ★ 藤枝市における認定事業所紹介 7
- ★ Essay For You 8

仕事を
知ろう！

MY JOB 講座

MY JOB 講座はこんな流れ

① マントを着た3人の講師が登場します。

講師の職業は何だろう？
みんなで当ててみよう！

② マントを脱ぎ、工作中的の服装になった講師が自分の職業についてお話します。

③ 児童のみなさんが、お仕事について質問します。



MY JOB 講座とは…

- 市内の小学校6年生を対象にした授業です。
- 様々な職場ではたらく大人3人を毎回、講師としてお招きし、職業を選んだきっかけややりがいなど、具体的に話をしてもらいます。
- 「性別によらない職業選択」の促進を目的とし、ふだん、私たちが無意識に抱いている「力仕事=男」などの固定観念・偏見から自由になることに着目した内容です。



MY JOB 講座を見学しての感想（編集委員）



現役で仕事にたずさわっている講師の方たちの話は大人が聞いても学びの多い内容でした。



職業当てのシーンでは男性講師にむけては「男の仕事」のイメージ、女性講師に対しては「女の仕事」のイメージにもとづく回答が多かったです。



「サラリーマン」は仕事の種類を意味しないことに気づいてハッとした表情を見せた児童がいました。





ひと 男女が共に支え合う防災体制づくり



女性の視点をもっと地域に活かしましょう！

藤枝市内の地区防災連絡会を見学させていただきました。およそ100人が集まる中で、女性の参画は10人弱。その少なさをとても残念に感じました。防災連絡会は、その地区の抱える問題点や避難所体制について考える場です。生活時間のほとんどを地区内で過ごす女性が多く、女性ならではの意見や提案があるはず。多くの女性が防災連絡会に参加し、女性の視点を活かすことができれば、もっと充実した防災・減災害につながると思います。



そして、みんなで地区の情報マップを作ろう！

様々な自然災害を本気で想定しなくてはならない近年です。自分の住む地域にはどんな危険が潜んでいるのか？危機が迫った時にどう行動すればいいのか？それらの不安を解決していくために危険を洗い出し、安全ルートを見つけ出すことが必要です。

小中学校生や高齢者、ハンデのある人など、地区に暮らす多様な視点で作るこの情報は、被災時には“受援力”にもなって、地区外から来てくれたボランティアの活動をスムーズにするでしょう。



伝言セット



非常時における伝言は、こんなアナログセットでもきっと役立つでしょう。

郵便受けなど、家族みんなが知る場所においてみませんか。



メモ紙、マジック、テープ

藤枝市の取り組みは？



藤枝市中田危機管理監へのインタビュー



Q1 県では、男女共同参画の視点を取り入れた自主防災活動を進めているが、藤枝市の取り組みを教えてください。

A1 自主防災会長をサポートする地域防災指導員を現在まで約1,000名以上養成していますが、女性指導員が少なく、増やしていきたいと思っています。又、指定避難場所の防災担当3名のうち、女性を1名入れて、女性視点での対応を進めています。

Q2 県では、避難所運営で、女性専用の物資の配慮を掲げているが、藤枝市の現状はどうですか？

A2 女性専用の物資の配慮は必要と思っていますが、市としては備蓄用品の中に入っていないのが現状です。各家庭や地域の自主防災組織の中で準備してほしいと思います。



防災力をパワーアップするためには？

防災訓練での進め方

★性別にとらわれない役割分担

掛川市の例

役割交代で再発見



★女性や子ども、若者が参加しやすい工夫

小学生の「命を守る防災学習会PTC大会」を藤枝中央小学校で開催。



★女性視点での地域防災備蓄品の準備

女性用品のニーズ把握は女性が行う。女性用トイレや女性利用スペースを確保。

防災倉庫を女性ものぞいてみませんか。



特集

あなたの居場所 は？

市民100人に聞きました！

(場所：JR藤枝駅など)



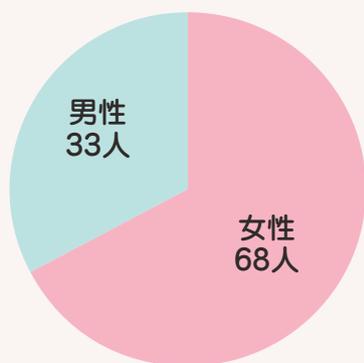
ねらい

男女共同参画とは
自分の居場所がある

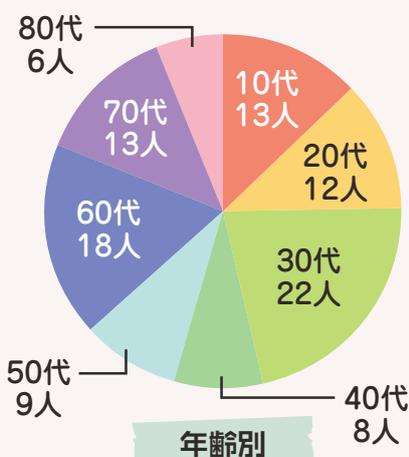
お互いの思いやり
自分らしさを発揮できる



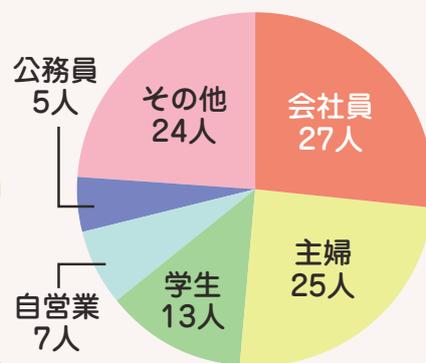
アンケート対象者



男女別

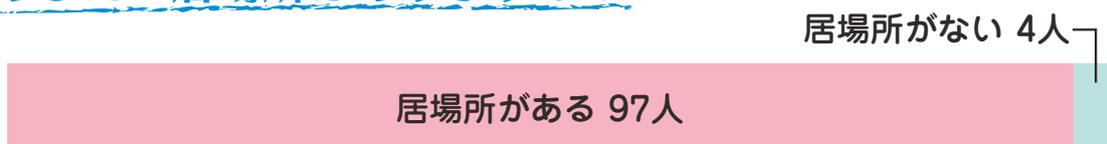


年齢別



職業別

Q あなたの居場所がありますか？



Q それはどんな所ですか？ (複数回答可)



その他の居場所として

- 趣味の場所 (テニス・手芸・音楽・釣り 他)
- 友人との語り合い
- 車の中
- 自室
- 実家
- 海
- etc

※アンケートは対面式で行いましたのでリアルさが聞けた一方で、今回のアンケートの中では、本当に居場所を求めている方の声が聞けなかったかもしれません。

Q なぜそこがあなたの居場所ですか？ (複数回答可)

安らぎ・楽しみ・リラックス [73件]

- ・気分転換でき心から落ち着ける。
- ・安らぎと安心感がある。
- ・元気になれリラックスできる。
- ・そこにいて楽しい。



人との関わりができる [65件]

- ・悩みや愚痴を聞いてくれて、相談できるから。
- ・自分の存在を認めてもらえるから。
- ・趣味など一緒にできるから。

目的に沿う場所 [37件]

- ・やりがいのある仕事で充実出来、生活に張り合いが出る。
- ・何かに熱中し集中できる。
- ・いろいろ経験できる。

1人になれるところ [40件]

- ・自分の好きな時間が持てる。
- ・人に気をつかわなくてよい。
- ・自由にでき、自分らしさを表現できる。

きっかけ [38件]

- ・子育ての役割の中にきっかけがあった。
- ・子育ての切り替えが欲しいから。
- ・人のため、何かのためというきっかけ。

『アンケートを実施して感じた事、見えた事』



- ・今回のアンケートでは、ほぼ全員に居場所があった。
- ・年齢に関係なくホッと出来る場所、居心地の良い所が居場所なのかなと思った。
- ・100人いれば100とおりの居場所がある事がわかった。
- ・地域や身近な所に居場所があれば良いなと思った。

ひとりひとりが家庭、地域、社会に心安らげる居場所を創りましょう！



「ぱりて」ってなあに？



『ぱりて』とは、藤枝市男女共同参画推進センター施設であり、活動の拠点です。フランスのパリテ選挙法により、男女が個（ひと）として、自分らしく豊かに生きられる社会に向け、自主的・積極的な活動や社会的自立を支援し、共に築き、共に担う「男女共同参画社会」の実現を目指し、平成14年6月に公設民営で開館しました。

〈所在地〉藤枝市駅前2丁目1-5 藤枝市文化センター 1F

〈TEL・FAX〉054-641-7777

『ぱりて』の活動をもっと多くの市民のみなさんに知ってもらうため 運営協議会会長の池谷さんに聞きました。

聞き手

池谷さん



活動を推進するための組織、現在の会員数、世代、男女比率を教えてください。また、『ぱりて』会員になる方法を教えてください。

現在、団体登録会員が130名、個人登録会員が50名の合計180名の会員がいます。事業計画は8名で構成する代表者会議で決定し、総会で承認を受けます。会員の世代としては60から70歳代が中心ですが、最近では若い女性の会員が増えてきました。また男性会員の数は10%未満ですが、市民フォーラムなどに参加してくれる男性が増えてきています。『ぱりて』への入会は無料ですので、ぜひ、男女共同参画に興味のある方のお待ちしております。



市民の中には文化センターにある『ぱりて』に入りにくいという声も聞きます。また『ぱりて』をよく知らない市民の方も多くいます。『ぱりて』を一般市民の方に、さらに活用してもらうために、何が必要と思いますか？

ここは、センターといっても、スペースの関係で8名位の講座は開くことはできますが主に事務所として使用しています。また、ロビーをパーティションで仕切っており一般の方に開放するには、もっと広いスペースが必要ですが消防法の制約もあり、簡単にはいきません。また、相談業務も行っており、ほかの人に聞かれたくないという方も来ますので、開放的に使用できる場所としたいのですが難しいのが現状です。



それでは、一般市民の方に気楽に来ていただくには、どうしたらよいでしょうか。

一般の方が誰でも気軽に来て話す場所として、2階にあるふじえだ市民活動支援センター「ぴゅあ」の利用を考えています。「ぴゅあ」は一般市民に開放していますので、ここを活用していきたいと思っています。また、現在あるスペースをセンターの拠点として、今後、ドアのない部屋にしたり窓ガラスを取るなどの工夫をしていきたいと考えています。

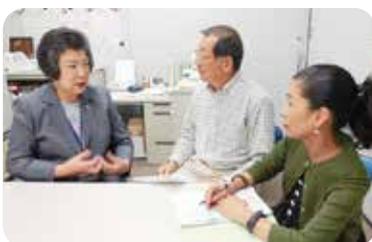


今後の『ぱりて』の目指すところは何か？

私は、男女共同参画社会はあたりまえな社会だと思っています。この実現に向け、「市民のボトムアップ」が『ぱりて』の目指しているところです。男女に関係なく、みんなが自立して、自分の意見をもって行動できる地域や社会にするため、チーム『ぱりて』で推進していきます。



ぱりて インタビューを終えて



「ぱりて」ってなあに？から始まったインタビューでした。話を聞いて、男女共同参画市民フォーラムや、ぱりて市民大学などいろいろな活動を少人数のスタッフで企画、実行していることがよくわかりました。これからの活動をさらに多くの市民の皆さんに伝え、ぱりてを活用していただくための工夫が必要と感じました。また、市民の皆さんからの意見も聞いて、気楽にぱりてを利用し、市民に開かれた風通しのよいぱりてになることを期待したいと思います。インタビューに快く応じてくれた池谷会長、どうもありがとうございました。

藤枝市における認定事業所紹介

株式会社 共立アイコム

知事
褒賞



当社が男女共同参画の意識をするようになって11年ほどになります。当初は男女共同参画を前面に出すのではなく、職場の風土改革という観点から、外部団体の指導を受けながら取り組みました。セミナーに参加すると他社を見る機会もあり、よかったです。

現在、正社員の男女比は3：1ですが、男性社員にも、たとえ短期間でも育児休暇を取得するように、声がけています。また各種制度や補助金などを紙で配布し、社員の皆さんにお知らせしています。

社名も変更しましたとおり、時代の変化とともに仕事の内容も変わります。従来の印刷業から、「情報の価値の創造」をお客様にご提案する企業でありたいと考えております。

仕事に追われるのではなく、家庭があってこそその仕事だという意識のもと、風通しのよい職場づくりを努めてゆきたいです。

管理職の女性が出産のために育児休暇を取得するなど、貴重なお話が聞けました。また、働きやすい職場を作るために担当されている鈴木さんの日々の努力、心遣いが伝わってきました。



今年認定されました！

株式会社 山田組

認定日：H27.4.15



今年で創業100周年を迎えた弊社は、大正5年の創業以来、地域の皆さまそして地域の関連企業に支えられて公共土木事業を中心に営んでまいりました。建築部門などの新規事業の充実を図っており、組織改革・人材育成・ISO取得、そして男女共同参画推進などあらゆる改革を通じて、これからも地域の皆さまに身近な企業としてお役に立てるよう研鑽・努力を続けてまいります。

「土木女子（どぼじょ）」や「けんせつ小町」という言葉を目や耳にされたことはあるでしょうか。男社会のイメージが強い建設業界ですが、その全体の3%にあたる約10万人の女性が建設現場で働いています。

当社でも子育てや介護を支援するための育児休業制度、短時間勤務制度、看護休暇制度等を整え、女性も含めた全ての職員が働きやすい職場づくりに取り組んでおります。まだまだ制度の活用率も低く、女性職員の人数も少ないですが、全ての職員がその能力を充分に発揮できるような職場づくりに努めてまいります。

「自然に学び、自然と共に歩む」という応接室に掲げられた言葉がとても印象的でした。



株式会社 トーカイ

認定日：H27.10.16



「安全・安心・信頼」をもとにお客様に信頼される「地域密着型企業」を目指しています。お客様のニーズや期待を大切に、当社の持つ技術力を持って、安全で高品質な土木工事を提供します。

従業員21人中、女性は3人で、うち2人が子育て中です。

男女共同参画の推進に理解と意欲があり、仕事と家庭の両立に配慮しながら誰もが働きやすい職場づくりに取り組んでいます。育児と介護休業制度を利用しやすい環境づくりをめざします。

建設業の場合は、藤枝市が発注する1億円未満の総合評価落札方式の評価項目に「男女共同参画推進事業所認定制度の取組」があれば、0.5Pが加点されるというメリットがあります。



昨日よりも 今日美しくなる



ミス・ユニバース2007
もりりよ
森理世さん

モデル/ダンサー/
コレオグラフィアー/
PR/アカデミー
アーティスティック
ク・ディレクター

私がミス・ユニバース世界大会で優勝させて頂いたのは、約8年前になります。二十歳の時に挑戦した出来事が自分の人生を大きく変化させる事になるとは当時思ってもおりませんでした。全ての始まりは祖母の一言からでした。

「十代最後の思い出作りに一生の記念になる事に挑戦してみなさい。」
更に祖母は私に言ったのです。

「どうせ挑戦するなら世界一大きいコンテストに出てみなさい。」

ミスコンテストという世界には全く知識の無かった私は急いで世界一大きいミスコンテストは何かを調べてみました。

「ミス・ユニバース」

それは私が初めてミス・ユニバースという世界と出逢った瞬間でした。自分の人生がミス・ユニバースというタイトルを背負って生きていく事になるとは思いもしませんでした。今はこの素晴らしい運命に感謝の気持ちで一杯です。

華やかな世界に生きる女性というイメージが強いのがミス・ユニバースですが、実際の活動は80%がチャリティー活動でした。それも、メディアが入る事がない地道な内容でした。HIVとAIDSのスポークスウーマンとして世界中を回り病気について正しい知識を広める活動をメインに様々なチャリティーに参加させて頂きました。人々とのつながり、心に残る景色や頂いた言葉たち、ミス・ユニバースと出逢わなければこれらの経験や感動ともめぐり逢う事はありませんでした。

他人が求めている物事を早く察知し行動する。「気づき」が無くては決してベストに近い活動は出来ませんでした。

この「気づき」こそが自分を最も成長させてくれたと思っております。世界が求めている必要としている力に気がつく事、自分の行動が周りにポジティブなパワーを振りまけているか、他人のほんの少しの変化に気がつけるか、細かく状況の変化に反応しなくては行けないのです。

他の為に役立ちたい！という心がけで周りも自分も輝いてきます。無意識のうちに希望ややる気が体中から溢れてくるのです。

「内面の美しさ」という言葉はよく聞きますが、きっとそれは意識して作るものではなく何か無我夢中に行動し他の為に働く時に、少しずつ身にまとうものだと思います。つまり女性としても人間としても昨日よりも今日美しくなるという事は、昨日より今日、自分の行動によって周りが幸せになっていく可能性があるかもしれませんね。そして昨日より今日美しい人が増えれば、この世界はもっと素晴らしく輝くと思います。

女性のための相談室

あなたと一緒に考えます

女性が抱えている様々な問題や悩みについて相談することができます

予約制 無料

相談日 毎週木曜日13:30~

相談会場 藤枝市役所 西館2階 女性のための相談室

相談予約電話番号

643-3198

藤枝市 男女共同参画課

「念ざれば花開く」

小さなタネを蒔き、毎日水をやり、太陽の恵みをいただく
と、苗はスグスグと成長し、やがて、きれいな花を咲かせます。

「念ざれば花開く」とはきれいな花が咲いてほしいと心に思いながら育てるとやがて粒の種が成長し、きれいな花を咲かせてくれるように、その人の思いが成就することだと思えます。そして、「念」とは初心を貫徹し、願いを成就する原動力であるともいえるでしょう。念という言葉は「今」と「心」からできています。「私はこうしたい」とか「こうなりたい」など今の心(気持ち)を常にしっかりと持って行動する大切さをこの言葉は教えてくれているようです。

男女共同参画とは、「お互いを思いやり、だれでもが自分らしく輝いて生きること」です。この心を常に持ち続けていけば、必ず自分らしく輝いて生きることができると確信しています。

(S)

男女共同参画社会づくり情報誌

Runらんらん

第18号
2015.12.20

読者の声 募集中!! らんらんのご感想をお寄せください。

藤枝市男女共同参画課 〒426-8722 藤枝市岡出山1丁目11番1号

[TEL] 054-643-3198 [FAX] 054-643-3327

[E-mail] danjo@city.fujieda.shizuoka.jp

この情報誌は再生紙を使用しています

市民から公募した編集委員が企画・編集をしています

編集委員

青葉 倫子 葛谷 綾子 齊藤 慎一
山賀恵美子 八巻 千恵

何かお困りのことが
ございましたら、
お気軽にご連絡ください。



MS&AD

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

代理店 梅原康浩(藤枝市在住)

〒427-0023 島田市大川町10-1

TEL 0547-35-1790

FAX 0547-35-1634



http://www.yd-g.co.jp/

人とともに 自然とともに
LIVING IN HARMONY WITH PEOPLE AND NATURE



YAMADAGUMI, INC.

総合建設業

株式会社 山田組

〒426-8575

静岡県藤枝市堀之内 1-1-3

TEL 054-641-0618 FAX 054-644-4715



低騒音・低振動の
道路カッターメーカー



NAKAYAMA

仲山鉄工株式会社

〒426-0066 藤枝市青葉町 1-4-12

☎054-635-1383